

第 9 回例会報告【第 2422 回】

例会日：2026 年 9 月 24 日（木）

会 場：戸田市文化会館 SAA：熊木将大

- ・奉仕の理想、ロータリーソング
- ・本日のプログラム 10 月 16 日オープン例会について



会長挨拶

2026～2027 年度会長 萩原達也



皆様こんにちは！

9 月のシルバーウィーク 4、5 連休は如何にお過ごしていたか？前半は台風 25 号による雨、後半にやっとお日様が出てきました。秋のお彼岸でお墓参りに行った方もいるようですね？私も 20 日彼岸の入りに 3 つのお墓を掃除してお参りました。自分のお墓と叔父、叔母夫婦のお墓です。それぞれの家族は近隣にいますが、彼岸の入りやお盆に掃除に来れないようなので、私が代わりに掃除をしています。23 日は秋分の日、秋のお彼岸のちょうど中日にあたる日です。この秋分の日を中心に前後 3 日間をあわせた日が、秋のお彼岸。2026 年の秋分の日は 9 月 23 日（水）です。彼岸入りが 9 月 20 日（日）、彼岸明けが 9 月 26 日（土）で、9 月 20 日から 9 月 26 日の 7 日間になります。お彼岸の意味ですが、「彼岸」はもともと仏教で使われていた言葉で、煩惱のない仏様の世界である「向こう岸」という意味があります。つまりお彼岸とは、悟りの境地に達した極楽浄土の世界を表しているのです。そしてお彼岸は、ご先祖様がいらっしゃる極楽の世界とこの世がもっとも近づく時期と考えられていることから、ご先祖様に感謝しながらお墓参りをする風習があるようです。お盆と彼岸の違いですが、お彼岸は春分の日と秋分の日、あの世とこの世がもっとも近くなると考えられていることから、お墓参りに行く習慣があります。一方お盆は、ご先祖様がこの世に戻ってくる時期と考えられています。お盆の 1 日目である「迎え盆」には迎え火を焚き、お盆の最終日である「送り盆」には送り火を焚いて、ご先祖様の霊を迎えたりお見送りしたりします。ところで彼岸とは？



「彼岸」の由来は、サンスクリット語の「パーラミター（波羅蜜多）」を漢訳した「到彼岸とうひがん」といわれており、この言葉を「彼岸」と略しています。「パーラミター」は、菩薩が修行を行い「仏になる」＝「完成する・達成する」という意味があり、煩惱や悩みを越えて到達する悟りの境地のことを指すようです。お彼岸は仏教の考えが元なので、昔から仏事と神事は一緒にしてはいけないという考えがあるため、お彼岸には神社でのお宮参りやお祓いなどは、避けた方がいいと考えられています。またお祝い事をするのはいけないという考えもあり、結婚式などは避けるという昔の風習がありますが、今の時代はそんな事は言っていないと思います。皆さんはどうでしょうか？年に 2 回のお彼岸にはぜひお墓参りをしたいものですが遠方だったり、仕事や家族の都合で行けないこともあるかもしれません。お彼岸だからといって「必ず年に 2 回お墓参りをしなければならない」ということではないようです。時間を見つけて、お彼岸の期間ではなくてもお墓参りをするようにしましょう。一番大切なのは、ご先祖様をうやまうと言う気持ちです。



幹事報告



2026～2027 年度幹事 庭野努

1. 次週、10 月 1 日木曜日は休会となります。同 5 日月曜日に地区大会ゴルフコンペが開催されます。当クラブからも 4 名参加予定です。



- ・ 10 月 16 日のオープン例会に向けての意見交換



ニコニコ BOX



橋本強委員長 合計 10,000 円 累計 128,000 円